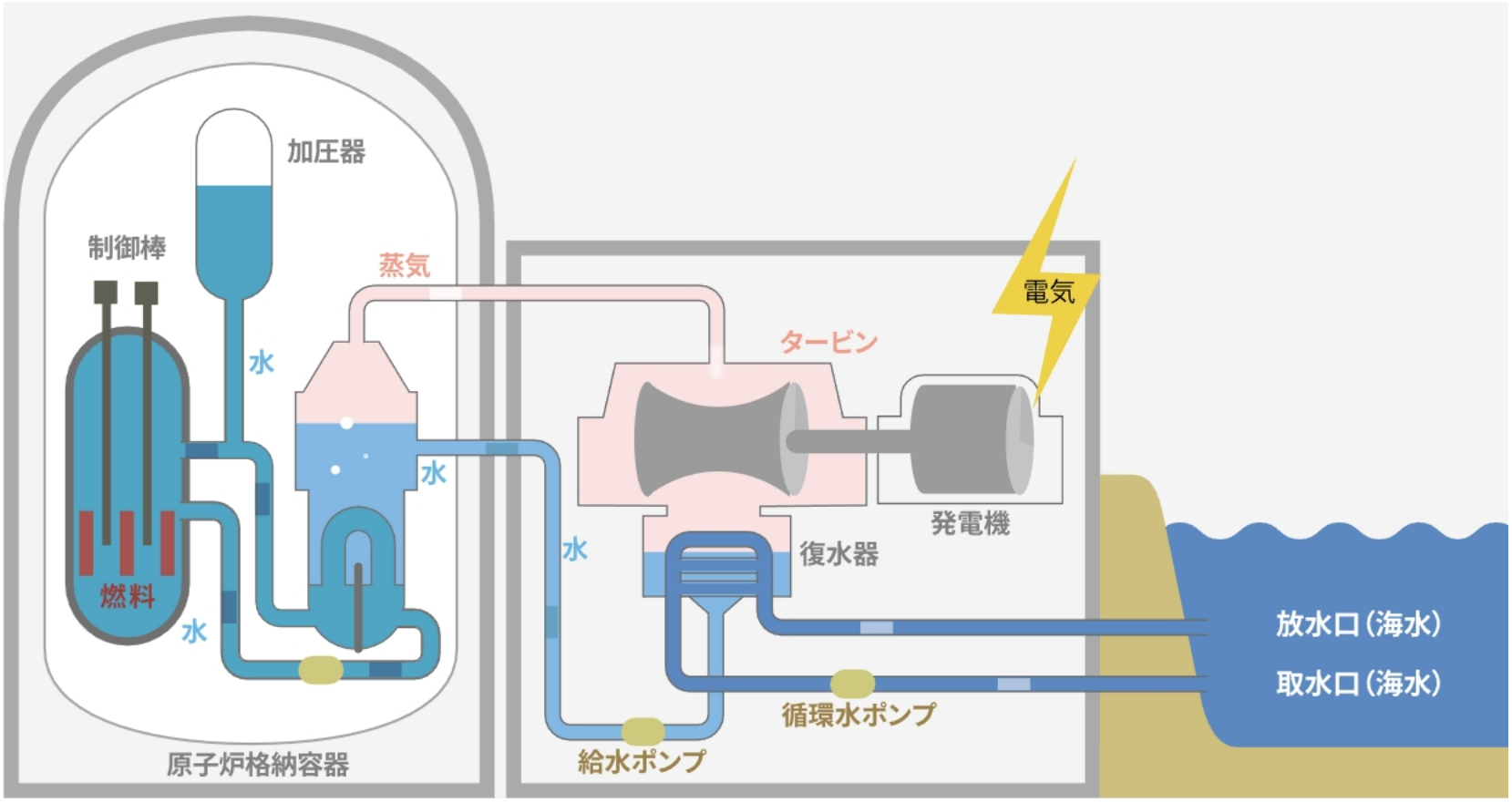
加圧水型原子炉（PWR）のしくみ



現在、日本で使用されている原子炉には、沸騰水型原子炉（BWR）と加圧水型原子炉（PWR）の2種類があり、それぞれ蒸気を発生させるしくみに違いがあります。

加圧水型原子炉（PWR）では、原子炉内で温められた水（一次冷却水）が沸騰しないよう高い圧力をかけ、この熱を蒸気発生装置に通して別の水（二次冷却水）を沸騰させ、発生した蒸気でタービンを回して発電します。燃料棒に直接触れる一次冷却水と、蒸気としてタービンを回す二次冷却水が完全に分離されている点が特徴です。

加圧水型原子炉（PWR）は、北海道電力、関西電力、四国電力、九州電力、日本原子力発電で採用されています。

HITACHI